

NCGGセミナー

AMEDデータ利活用プラットフォーム CANNDsについて

演者：高井 貴子 先生

AMED ゲノム・データ基盤事業部
ゲノム医療基盤研究開発課 調査役

令和3年12月20日(月)15:30～16:30

**Teamsウェブ配信併用
(センターポータルサイトのURL参照)**

座長：研究所長 新飯田俊平

AMEDは政府の方針に基づいて、AMEDが支援した研究から得られたデータの利活用の促進を目的として「AMEDデータ利活用プラットフォーム（CANNDs）」を令和4年度内にスタートする計画です。CANNDsが提供するサービスは、①データの利用に関する情報提供、②データ利用者サポート、③データのストレージへの収載とその管理、④高度セキュリティが必要なデータの検索・解析環境の提供、を計画しています。CANNDsは、AMEDが支援する研究から得られた多様かつ膨大なデータを、横断して利活用できるサービスを提供します。産業界を含めた研究利用の環境を整備し、医療研究と新しい医薬品や検査法の開発を推進する役割をCANNDsは担います。

連絡先: 研究所長室 (内線 5003)